森林環境譲与税に係る使途の公表

令和４年度　森林環境譲与税に関する決算状況一覧

市町村名	事業区分	事業名	事業総額（千円）				事業内容	実績	税導入の効果（総括）
				うち当該年度の森林環境譲与税（千円）	うち基金取崩額（千円）	うち他の財源（千円）			
白川村	その他森林整備	白川村森林環境整備事業	5,060	3,808	1,252	0	国・県補助事業に該当しなかった森林について、村独自の事業として公的施設、インフラ等にかかる危険木除去など森林整備	平瀬地区危険木伐採処理 ２箇所４６本	森林面積33,957ha（森林率95.2%）の白川村は急峻な山に囲まれた山村であり、石油燃料などの発展により薪などの森林需要の低下により、森林所有者が行う森林管理が衰退してきた。その結果として居住地と森林が密接にある環境下において、近年の鳥獣被害や肥大化した針葉樹の倒木被害など森林施業に向けられる要望が生活環境向上のための里山林整備に推移してきていると考えている。 令和４年度は住民からの要望に基づき公的な住環境の向上に資するような森林施業として、地域に唯一のガソリンスタンドや通信施設基地付近にある肥大化・斜立したスギ林を特殊伐採除去した。施業地が電線や建物に密接している関係から特殊伐採となり、不足した費用は積立基金から取り崩し活用することができた。 今後も同様な案件であれば積極的な活用も検討するが、限りある税導入にあって村全体の森林施業を見越した整備計画の策定を進めながら最大限の効果を森林施業で発揮したい。